

粋葉会 忘年 コンペ、激戦を制し 阿部選手が 優勝！

《12月14日 ダイヤモンド コース》

平成8年度最後の粋葉会コンペが、12月14日行われた。シアトル帰りの岩本さん、グアムから帰国した阿部さん、そしてオフィシャル・ハンディ19を得たばかりの元松さんを迎えて15名で熱戦を繰り広げた。天候にも恵まれ、最高のゴルフ日和のもと行われたコンペの結果は以下の通り。

参加者	OUT	IN	TOTAL	HD	NET	順位
水落	48	44	92	11	81	10
歌川	47	49	96	15	81	11
中島	40	44	84	8	76	4
岡田	47	45	92	16	76	6
元松	46	57	103	19	84	BB
加藤	52	48	100	20	80	9
土田	42	46	88	16	72	3位
池田	47	44	91	13	78	8
阿部	40	40	80	10	70	優勝
朱雀	50	57	107	17	90	BM
米原	47	47	94	18	76	7
高橋	53	48	101	20	81	12
郷島	38	45	83	11	72	2位
原	45	51	96	12	84	13
岩本	46	45	91	15	76	5

直前まで、予約組数が足りずに開催が危ぶまれていたが、原島さん予約の一组を加えて、ようやく4組の忘年コンペの開催となった。加藤さんの手作りのアジのひものと、しばらく前に新しい仲間となった、元日航の今関さんからいただいた賞品の数々を使わせてもらって、豪華な賞品のコンペとなった。年末のコンペということで、忘年会のシーズンと重なったため、参加者はコンディションの調整に苦労した様子がうかがえたが、体調はいまいちであった阿部さんが40・40でまとめて優勝したのは、さすがであった。

優勝者のプロフィール：阿部さん
ゴルフ暦は比較的長くて、グアムに出張する以前は、飛ばし屋としての阿部さんの印象が強かった。しかし、グアムから帰ってからの阿部さんのゴルフは、力押ししていた以前のゴルフとはおおいに違って、柔らかいシャフトのクラブを綺麗なりズムで振り抜くスイングに変身していたのだ。特に、アプローチにみせるソフトなタッチは、ますます磨きがかかり、パー獲得率が高いのもドライバーの飛びによるよりも、小業の確かさによるものといえる。教え上手も定評のあるところで、長老たちからも一目おかれる存在となっている。中島さんに続いてのシングル入りを目指して、ガンバッテ欲しい。

会計報告 1996. 12. 14

収入	支出
参加費 ¥2,000 x 14 = ¥28,000	賞品代 今里さん、加藤さん寄付
粋葉会積立金から ¥1,800	パーティー代(14人) ¥29,800
¥29,800	¥29,800

歴代の優勝者紹介

		Gross	HD	NET
第1回	土田健一	48	42	90
	(93年11月2日 箱根)	19		71
第2回	歌川勝巳	41	46	87
	(93年12月24日 エメラルド)	19		68
第3回	米原 治	46	45	91
	(94年1月22日 ダイアノエメ)	20		71
第4回	朱雀 隼	46	46	92
	(94年3月5日 エメラルド・高麗)	24		68
第5回	水落勝利	40	41	81
	(94年5月28日 エメラルド・ベント)	13		68
第6回	土田健一	50	43	44
	(94年9月4・5日 ブルックス・恵庭)	45	182	30
第7回	池田圭一	40	46	86
	(94年11月5日 小山杯 ダイヤモンド)	13		73
第8回	高柳角二	35	39	74
	(94年12月24日 旧クラブハウス さよならコンペ)	6		68
第9回	神原篤	41	48	89
	(95年9月2日 エメラルド・高麗)	22		67
第10回	米原 治	46	42	88
	(95年12月16日 ダイアノエメ ベント)	20		68
第11回	郷 篤	42	42	84
	(96年6月1日 ダイヤモンド コース)	11		73
第12回	阿部 三郎	40	40	80
	(96年12月14日 ダイヤモンド コース)	10		70

上記公式戦の他に、下記のような番外編があるので記録しておきたい。

食本シリーズ

96年4月21日 熊本中央カントリークラブ
優勝 歌川勝巳 44 46 90 15 75
96年4月22日 阿蘇プリンスホテル ゴルフコース
優勝 元松至人 49 46 95 18 77

粋葉会 の精神

それぞれの人が、地位も年齢も忘れて、ゴルフを通じて大いに楽しみ、大いに語り合う事は素晴らしいことだ。時には飲み、歌をうたい、グチも言い、ウサもはらそう。健康を維持し、共に70歳になっても、ゴルフが楽しめるような、そんな仲間でありたい。

忘年幹事会

12月14日夜、大船において幹事中心での集まりがもたれた。席上、会長の池田さんから、会長を土田さんか加藤さんに交代したい旨の提案があったが、一同池田さんの統投を依頼し了承をえた。又粋葉会ハンディキャップ委員長に土田さんが選任された。PCを駆使して、スコアの記録をとり、より正しい粋葉会ハンディを確定したいと、抱負を語った。

また、今年の『ルーキー・オブザ・イヤー』として、加藤さんが選ばれた。これは、制度としてあるものではないが、その年の成長が最も著しかったプレイヤーに贈られる名誉として選出した。ドライバーの飛距離、アプローチの巧みさ共に精進の甲斐あって、本人の満足のいくレベルに到達しつつあることを認めたい。さて、来年の『ルーキー・オブザ・イヤー』は誰に？

文責：水落